



What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

INDEX

今号の主な内容

■特集 新型コロナウイルス感染症対策	■ISIT 市民講演会開催..... P5
テレワーク相談窓口/福岡市テレワーク促進委員会..... P1	■第15回有機光エレクトロニクス産業化研究会..... P5
Code for Fukuokaと連携した新型コロナサイトの運営..... P2	■「あんしん給食管理」サービス開始..... P6
ISIT評議員会をWeb会議で実施..... P2	■エンジニアカフェ1周年..... P7
SOILリニューアルオープン..... P3	■福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)総会..... P7
小中学生向け夏休みオンライン体験実験..... P4	■ISITからのご報告..... P8
よろず相談「分析NEXT」の現況..... P4	■賛助会員紹介・募集..... P8
山田研究所長がCERI寄付講座にて講演(オンライン)..... P4	

特集

新型コロナウイルス感染症対策と「新しい生活様式」下でのISIT

令和2年3月～

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた社会経済情勢の急激な変化に直面するなか、ISITは産学官連携による産業振興と地域発展に貢献する公益法人として、福岡市と協調しながら、テレワーク導入緊急相談窓口、市・商工会議所共同でのテレワーク促進委員会、ポータルサイト運営支援、リモート配信体験やオンライン会議対応ができる設備の新規導入など、新たな取り組みを急遽実施しました。また、評議員会をはじめとする諸会議や催事などオンラインで行うなど、ISITとしても実施手法の変更に対応し、事業を進めています。

テレワーク相談窓口

新型コロナウイルス感染症の対策のため、緊急的にテレワークを導入する企業を支援するための相談窓口を設置しました。

急遽テレワークを導入せざるを得なくなった企業からの疑問に、電話やメール、Webで相談を受け付けるものです。令和2年3月の窓口設置後、7月までに700件を超える相談をいただいております、継続して相談受付中です。(相談受付サイト) <https://www.isit.or.jp/telework/>

相談例

「テレワークを実施したいがやり方がわからない」
「Web会議で打合せと取引先から言われ困っている」

福岡市テレワーク促進委員会

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、上記の緊急相談窓口をさらに拡充し、テレワークを新たに導入する企業に対し必要な機器やアプリケーションの購入費用等の一部を最大50万円支援する「福岡市テレワーク促進事業」を福岡市及び商工会議所と連携して実施しました。

本取り組みでは、電話相談や支援金の支給に加え、テレワーク導入に関する技術的な支援及びコンサルティング等による支援が可能な地場の企業、団体等を募集し「サポーター企業」として登録をしてもらい、地場中小企業・小規模事業者のテレワーク導入を技術的または法務的にサポートする仕組みを作り、テレワーク導入の促進を図りました。

福岡市内の285企業等にサポーター企業に登録いただき、約760企業等へ支援金の交付を行いました。



事務局の様子



申請から交付までネットで完結

■本件事業は終了していますので、今後はIT導入補助金等の国等による事業をご検討ください。

Code for Fukuokaと連携した 新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイトの運営

令和2年3月

ISITは、IT技術を活用して地域課題の解決を目指すボランティア組織「Code for Fukuoka」と連携し、新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイトの運営を支援しています。本Webサイトは、福岡市、福岡県から公開されているコロナ関連のオープンデータをグラフ化してわかりやすく伝えるサイトとなっています。

東京都が、新型コロナウイルス感染症対策サイトのソースコードを一般に公開したことにより、全国に同様のサイトが広がりました。九州では福岡市がコロナ関連の情報をオープンデータとしていち早く公表したことにより、福岡市を対象とした新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイトが九州初のサイトとして3月17日に公開され、引き続き福岡県でも3月31日に公開されました。Code for FukuokaのメンバーでもあるISITの職員は、自治体との連絡窓口や、データ変換プログラムの作成、インフラ環境の提供&メンテナンスを担当しています。

当初は6月くらいまでの運用を予定していましたが、現在の新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、継続してサイトの運営を行っています。これまでに、福岡市と福岡県のサイトを合わせて、380万ページビュー（2020/3/17～9/10）を超えるアクセスがあり、注目度の高いWebサイトとなっています。本サイトは市民の関心が高いため、今後も事実を正しく伝えて行けるように運営を支援していきます。



ISIT 評議員会をWeb会議で実施

令和2年6月11日

本年度の評議員会については、新型コロナウイルス感染症対策として、初めてWeb会議システムの利用も可能とし、6名中2名の評議員がWeb会議システムでの出席となりました。会議では、活発な意見のやりとりがあり、議事は滞りなく進行了しました。本件会議はWeb会議システムがウィズコロナ時代のかかせないツールのひとつであることを認識させるものとなりました。



SRP Open Innovation Lab（以下SOIL）は、これまでAI・IoTなどの最新技術体験・各技術の相談・エンジニアやビジネスマンの交流などの場として、株式会社福岡ソフトリサーチパークとISITで共同で設置し、運営してきました。今回ウィズコロナ時代の「新しい生活様式」に対応して既存のSOILを改装し、SOILスタジオという名称で、オンラインセミナーが可能なリモート配信スタジオとしてオープンしました。また隣の少し広いスペースを、SOIL イベントスペースという名称で、オンライン動画配信と会場での観覧が同時に併用できるイベントが開催可能な場所として新設しました。

■SOILスタジオ

SOILスタジオは、オンライン配信、動画の制作が可能なスペースとなっています。広さは約50㎡、ネットワークはWiFi、有線どちらも対応可能です。

クロマキー※やHDMI※ミキサーを利用した配信動画の合成やHDMIミキサーを利用した動画の収録、動画編集用のPCも用意しています。

※クロマキー：緑色布バック（特定の色の成分から映像の1部を透明にし、別の映像を合成する際に使用）

※HDMI：映像や音声などをデジタル信号として1本のケーブルで伝送できる通信規格



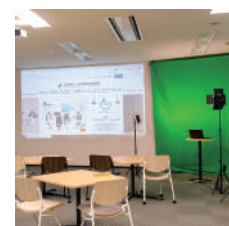
HDMIケーブル



■SOIL イベントスペース

SOIL イベントスペースは、広さは約90㎡、ハンズオンで20名程度、椅子のみで40名程度のセミナー等のイベントが開催できるスペースとなっています。（十分な距離を確保するためには、10名程度でのご利用となります）

こちらの部屋にもクロマキーやHDMIミキサーを用意しており、オンラインとオフラインのイベントが同時開催できる場所となっています。



■設置機材

SOILスタジオには、HDMIミキサーとして、ATEM Mini Proを、SOIL イベントスペースにはRoland VR-4HDを設置しています。また各部屋には各種、ビデオカメラやマイク、ビデオライトを準備していますので、リモート配信や動画の収録が可能となっています。



ミキサー（ATEM Mini Pro）



ミキサー（Roland VR-4HD）



SOILスタジオ、SOIL イベントスペースは設置運営方針と利用規約の範囲内で、ご利用いただけます。ISITの賛助会員、SRP入居企業は、半年前からご予約いただけます。それ以外の利用については、2週間前からのご予約が可能です。

原則、場所と機器の貸し出しであるため、オペレーションは利用者に行っていただきます。自分でのオペレーションが難しい方は、オンライン配信の相談や、実際の配信時のオペレーションなどをISITの技術コンサルティングとしてご利用いただけます。コンサルティングは、一般の方は有料となりますが、賛助会員は賛助会員の特典の範囲で無料でご利用いただけます。

ご予約は下記のWebサイトで受け付けております。

<https://www.isit.or.jp/project/soil/>

ISITは人材育成事業の一環として、令和2年8月8日に小中学生向け夏休みオンライン体験実験を九州大学と福岡市産学連携交流センター（FiaS）指定管理者との共同主催で開催しました。本イベントは毎年、同センターにて現地開催されてきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響により、初のオンラインでの開催とし、参加者（親子20組）の各ご家庭にFiaSからライブ配信を行いました。=写真上

第1部「ぷよぷよゲルの世界」

九州大学の神谷典穂教授による「ゲル（ゼリー状の物質）」をテーマにしたレクチャーに始まり、神谷研究室の学生の実演を見てもらいながら、各ご家庭で使用可能な実験キットを用いてぷよぷよゲルを作る実験を進めてもらいました。時折ゲルについてのクイズを交えながら楽しく実験を進め、参加者の皆さんは出来上がったゲルを笑顔で、Web上で披露してくれました。=写真下



第2部「電子顕微鏡ライブ!」

ISITの吉原大輔イノベーション・アーキテクトが講師となり、FiaSの分析機器室にある顕微鏡での観察の様子を配信しました。第2部でも参加者がクイズに答えながら、マスクに使われる不織布や昆虫など身近なサンプルを観察し電子顕微鏡でしか見ることでできないマイクロ、ナノの世界を覗いてもらうことで、その不思議さに参加者の皆さんは目を奪われていました。



最後の質問コーナーでは「ゲルってどれくらい大きくできるの?」、「電子顕微鏡でも観られないものはあるの?」など、講師をうならせる鋭い質問が多数寄せられ、初めての試みであったオンライン双方向型の体験実験の大きな可能性を感じることができました。

よろず相談「分析NEXT」の現況



現在、よろず相談「分析NEXT」では、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策（マスク着用、3密回避、換気）を取りながら、技術課題相談を受け付けております。

- 1 技術課題に関するよろず相談（メール、電話、Web会議システムの活用）
- 2 分析機器を用いた分析・解析
福岡市産学連携交流センターの分析装置（TEM、SEM、FIB-SEM、NMR、MALDI-TOF-MS）及びISITの分析装置を使った分析（九州大学中央分析センターの学外利用は令和2年9月10日現在停止中）

相談窓口（メール：bunseki@next-soudan.com、電話：092-805-3810）

山田研究所長がCERI 寄付講座にて講演(オンライン)

令和2年6月27日

例年、福岡市産学連携交流センター（FiaS）で開催されていた一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）の寄付講座「先端分子材料化学～設計、構造・物性、機能からデバイスまで～」が、今年度はオンラインで開催されました。全14講の第1講として山田研究所長が「ナノ材料の科学と技術」というタイトルで講演いたしました。最適な配信環境整備や、オンライン向けの講演資料作成など、事前準備は試行錯誤の連続でしたが、コロナ禍の中、例年通り多くの聴講者が受講しました。ナノ材料グループで扱っているプラズモンナノ材料をはじめ、ナノ材料の基礎と応用可能性について幅広く知ってもらう機会となりました。

最新型スマートフォンやテレビのディスプレイに用いられている有機ELの技術をテーマに、市民向け講演会を福岡市科学館にて実施しました。同館の基本展示室において有機ELに関する展示パネルや教材などが登場し約1年となる機会を捉え、講演と実験披露の2部構成で開催し、109名が聴講しました。

第1部では、九州大学大学院工学研究院主幹教授の安達 千波矢氏が、自身の経歴を交えながら、有機物が光る原理と用途を身近な洗濯用洗剤などの例を挙げて説明、また有機ELを活用した製品の可能性について映像を用いながら示し、将来展望を語りました。

第2部では、九州大学サイエンスコミュニケーターのパツキャベジ ウィリアム氏と九州大学大学院工学研究院助教の儘田 正史氏がステージ上で実際に有機ELの発光素子を製作し、電気を流して光らせるなど、楽しい実験ショーを行いました。

聴講者から寄せられた多くの質問とアンケート結果からは、講演と実験の分かりやすさに加え、先端研究の成果と活用についての関心の高さがうかがえました。今回参加された市民の皆様にはISITの活動や九州大学の研究内容を知っていただく好機となったと思われます。



九州大学大学院工学研究院主幹教授 安達 千波矢氏

※「福岡市科学館 基本展示室 有機EL研究が登場」(ISIT活動レポート 2019 89号 令和元年5月発行) Webページ参照



実験室で実際に使用しているクリーンスーツを着用



有機EL発光実験

第15回 有機光エレクトロニクス産業化研究会

令和2年1月15日

ISITは、福岡県、福岡市、公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）と共に、地場企業の有機EL産業への参入を促すため、有機光エレクトロニクス産業化研究会を開催しています。

今回は、令和2年1月15日に、「ペロブスカイトの最新研究動向」をテーマに開催しました。

本研究会では、機能性ナノ材料として注目されているペロブスカイトの発光デバイスへの応用を中心に、最新の研究結果が第一線で活躍されている研究者から紹介されました。当日は80名の参加者があり、講演会、交流会ともに盛況のうちに終了しました。



給食献立のアレルゲンが一目でわかる「あんしん給食管理」サービス ～福岡市のオープンデータを活用した実証実験として開始～

令和2年8月

ISIT、福岡市及びLINE Fukuoka株式会社（LINE Fukuoka）は、福岡市のオープンデータを利活用した実証実験の第一弾として、小学校給食のアレルゲンおよび献立情報を福岡市LINE 公式アカウントで受け取れる「あんしん給食管理」サービスの提供を令和2年8月20日から開始しました。

■背景

福岡市の児童の3.1%には食物アレルギーがあります。食物アレルギーのある児童の保護者は、市が毎月配布する「詳細献立表」をもとにアレルゲンのチェックを行なっています。しかし、目視での確認作業は大きな負担となるだけでなく、アレルゲンのチェック漏れにより深刻な結果を招く恐れもありました。

ISIT、福岡市及びLINE Fukuokaは、オープンデータの利活用促進を目的に実証実験協定を締結しており、その取組みの第一弾として、学校給食献立におけるアレルゲンチェックという社会的課題を解決するために、オープンデータを利活用した新サービスとして「あんしん給食管理」を開発しました。

■サービス概要

今回の「あんしん給食管理」により、利用者には次のメリットがあります。

- ①利用者が児童の小学校名とアレルゲン、メッセージの受信時間を設定しておくだけで、給食献立に加え、アレルゲンが含まれる日はアレルゲンの情報もあわせてLINEで事前で通知を受け取ることができます。食物アレルギーがない場合でも、給食献立情報を受け取ることができます。
- ②LINE 公式アカウントのトップ画面からメニューを順次選択し、日付を指定することで、その日の給食献立とアレルゲンを調べることが可能です。

アレルゲンが含まれていると
LINEに通知が届きます



日付を指定して給食献立と
アレルゲンを調べることができます



画像提供：LINE Fukuoka

「あんしん給食管理」開発における3者の役割は次のとおりです。

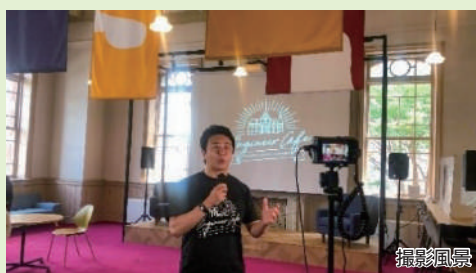
- ・福岡市：小学校給食献立のオープンデータ公開
- ・ISIT：小学校給食献立データにアクセスするためのAPI（アプリケーション・プログラミング・インタフェース）開発
- ・LINE Fukuoka：福岡市LINE 公式アカウントにおける「あんしん給食管理」アプリケーション開発

エンジニアの交流拠点、エンジニアカフェが1周年を迎えました。

エンジニアカフェは「集まって交流できる場がほしい」というエンジニアの皆さんの声を受けて、国の重要文化財である福岡市赤煉瓦文化館内に令和元年8月に開設され、これまで約2万人のエンジニアやエンジニアを目指す方々にご来場、ご活用いただいています。

そのエンジニアカフェが開設して1周年を迎える令和2年8月21日から25日にかけて1周年記念イベントが行われました。

イベントはオンラインで行われ、福岡内外からの登壇者をビデオ会議ツール等で中継し、動画配信を行い、当日は延べ約1300名の方々にご視聴頂きました。



■ イベントの様子はYouTubeのエンジニアカフェのチャンネルにて現在もお楽しみいただけます。
<https://www.youtube.com/channel/UCWW7DWIPbrsOjQNPYx1wvQw>

福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)総会



令和2年7月8日

福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)は前年度の活動実績、今後の活動方針・計画を報告するため、総会を開催いたしました。

- ・『九州でIoTエコシステムを構築する!〜My-IoTプロジェクトの活動紹介〜』と題しまして、九州大学システム情報科学研究所 教授 井上弘士様にご講演頂きました。
講演では、My-IoTプロジェクトの現状と九州を起点としたIoTエコシステムの構築に向けた課題、実証の取り組みについて話されました。
- ・FITCO事務局よりマッチング支援やワーキンググループの取り組みなどの活動と今年度の活動方針・計画を報告いたしました。



リニューアルしたSRPオープンイノベーションラボ・スタジオでの撮影の様子

ISITからのご報告

■山田研究所長が日本工学アカデミー九州支部長に就任

令和2年7月、山田研究所長が公益社団法人日本工学アカデミー九州支部長（1期2年）に就任し、同支部事務局をISITが務めることとなりました。

ISITでは、産学連携における企業や大学研究者との人的ネットワークとして学会等の活動を支援しており、地域における学会等の事務局業務を行っています。

同アカデミーの設立趣旨に則り、会員への情報や交流の場の提供ならびに地域社会に対する共創活動に寄与し、併せて会員相互の協調と親睦を図ります。これから様々な事業等を企画・実施して参ります。



賛助会員《法人・個人》のご紹介

新規賛助会員ご紹介

■公益財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM) 様

次代の京都経済を担う企業の成長・発展を支援する公的な産業支援機関です。

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介（リンク等）

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付 等

詳細はこちらまで！ ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22

〈福岡SRPセンタービル5階〉

Fukuoka SRP Center Bldg 5F
2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

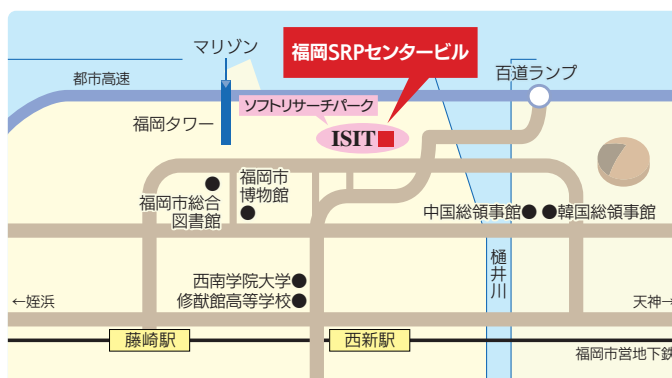
TEL 092-852-3450

FAX 092-852-3455

URL: <https://www.isit.or.jp>

編集: ISIT事業支援部

制作: 株式会社西日本高速印刷



賛助会員入会のご案内

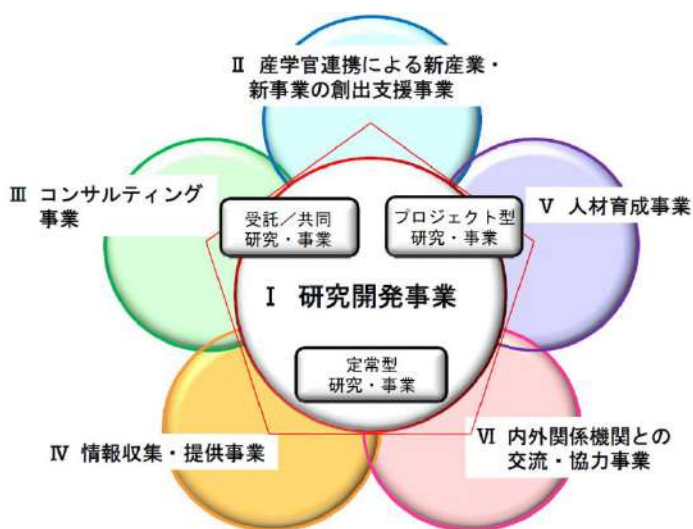
当財団の事業目的に賛同して頂ける方
(企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中

主な特典

1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
3. ホームページで会員紹介(リンク等)
4. その他活動報告書や活動レポートの送付



当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。



産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK事業)
- SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業 (分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細: <https://www.isit.or.jp/project/>



【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel : 092-852-3450 Fax : 092-852-3455

E-mail : isit-soumu@isit.or.jp

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル5階

賛助会員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 宛

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

年 月 日

ふりがな			
団体名 又は氏名	※法人会員の場合は団体名、個人会員の場合は氏名を正式名称でご記入ください。当研究所のWEBに掲載させていただきます。		
代表者氏名			印
住 所	〒		
電話番号	※法人会員の場合は代表番号をご記入ください。	FAX番号	
入会理由 ※複数選択可	1. 研究開発内容に関心あり 2. 共同研究/共同提案等の実施等 3. コンサルティング(技術相談等)の活用 4. セミナー・交流会等の活用 5. 情報収集等 6. その他()		
申込口数	※番号に○をつけて、申込み口数をご記入ください。 1. 法人会員 □ 2. 個人会員 □ (6万円/□) (1万円/□)		
メールアドレス	※各種セミナーや講習会などのご案内や賛助会員様への連絡等をお送りする宛先になりますので、必ずご記入ください。		
WebページURL	※当研究所のWEBでのリンク設定を希望されない場合は、□にチェックを入れてください http:// □当研究所の賛助会員ページに上記URLをリンクすることに同意しません。		
※団体(法人会員)での申込みの際は以下もご記入ください。			
担当部署名			
担当者名		電話番号	
備 考			